

# 議会 とよとみ

豊富町議会広報紙

## 12月定例会

[12月12日]

豊富町議会からのお知らせ

12月定例会特集	2
一般質問	3
議会が町のコトチェック	6
高校生議会特集	8
議会レポート	12
高校生の声・中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



# 議員が町政を問う

## 一般質問

### 一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は1名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

4番 小笠原 照美・・・・・・・・・・・・・・・・ P4-5

・豊富イノベーション政策について

一般質問の全文が記載されている会議録は、出来上がり次第HPにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

HPIはこちらから→  
(議事結果等一覧)



# 産前産後期間の 国保税免除

## 12月 定例会

### 12月定例会の あらまし

令和5年12月12日に、12月定例会が開催されました。

一般質問では1名の議員が登壇し、町長が掲げる「豊富イノベーション政策」のうち4項目について質問しました。

町長から提案された3件の条例改正、2件の普通財産貸付料の減免、4件の補正予算及

び、議員から提出された1件の意見案については全て原案可決されました。

また、豊富町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が執行され、4名の選挙管理委員、4名の選挙管理委員補充員が指名推選により当選しました。

## 豊富町国民健康保険税条例の一部を改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、現在、豊富町の国民健康保険に加入している出産予定の方、または出産された方の国民健康保険税を4か月間（多胎妊娠の場合は6か月間）免除するため、条例改正を行いました。

なお、この条例は令和6年1月1日より施行されています。

### 免除の対象となる方

令和5年11月以降に出産予定の方、または出産された方  
※妊娠85日以上の出産が対象となっており、死産・流産・早産・人工妊娠中絶の場合も対象となります。

### 免除期間

出産予定日または出産日が属する月の前月（2人以上の多胎妊娠の場合は3か月前）から出産予定月（または出産月）の翌々月まで

### 例 令和6年8月出生予定月の場合

(単胎妊娠の場合)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

7月から10月までの4か月分が免除されます

(多胎妊娠の場合)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

5月から10月までの6か月分が免除されます

### その他

届け出の必要書類や注意事項は、右記のQRコードからHPをご覧ください。財政課税務係（0162-73-1772）までお問合せください。



(豊富町HP)



小笠原 照美 議員

## 問 豊富イノベーション政策の具体的な考えは？

町長 関係機関との協議や財源対応等も含め検討する

**議員** 6月定例会で報告した令和5年度町政執行方針で、町長は「豊富イノベーション政策」として7つのテーマを掲げられました。次の4項目について町長の考えをお聞かせください。

1. 医療と福祉の支援「障がい者グループホームの検討」

**答** 家族の高齢化や親亡き後でも障がいのある方や家族が安心して地域で暮らすためには、住まいは欠かせないものであり、通所利用時の身体的などの負担軽減や自立促進のためにも障がい者グループホームは必要であると考えています。

現在、町内のグループホームには空き室があるようですが、将来を見据えながら関係機関などと協議を進めていきます。

**議員** サロベツマイハートは地方から来られている方もいるとお聞きしています。障がい者グループホームに対する構想についてはもう少し踏み込んだ町長の考えをお聞かせください。

**答** 施設設置者とお話した際、将来はグループホームが不足していくだろうという話を受け、町内にある遊休施設や古くなった公営住宅などを

リノベーションすることで、グループホームを提供できるのではないかと考えています。

2. 産業の支援「老朽化したライフラインの整備と新庁舎の検討」

**答** 喫緊の課題として水道管の老朽化が懸念されており、近年では、大規模漏水なども発生しており、町民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしています。現在、老朽化した水道管の布設替え工事は計画的に執り進めておりますが、工事資材等の高騰などにより、水道事業の経営は厳しさを増しているため、水道料金の設定については様々な状況を考えあわせ、適切な時期に町民の皆さんのご理解を頂きながら、料金改定に向け検討を進め、安心安全な水道水を安定的に供給できるよう努めます。

続いて、新庁舎建設についてですが、現在の庁舎は築55年以上が経過し、建物の老朽化、災害時の防災拠点機能不足などが課題となっています。特に、近年、周辺市町村での地震発生が増加を考えると、耐震強度が不足して

いる役場庁舎へ来庁される町民や職員の安全性への対応が急がれているところでありますが、現在、本町では数多くの老朽化した公共施設が存在している現状も踏まえ、町民の皆さんへの行政サービス向上を基本に、公共施設全体の中で優先順位を付け、財源対応も含め検討します。

**議員** ライフラインの老朽化は水道だけでなく道路の整備も早急に行うべきと考えます。また、今後、水道管整備等に伴う全体の費用のうち、一部は補助金を使い、その他では一般財源と債権で成り立つと考えられますが、債権の償還時期になると水道会計の圧迫が懸念されるため、早いうちに料金の改定を検討し、負担してもらいながら水道を安定供給するべきだと思います。また、老朽化している公共施設が多い中で、優先的に取り組むべきは庁舎だと思いますし、来年度から町として町民へ素案を提案するくらいの意気込みがないと、庁舎建設については進んでいかないと思います。

**答** 水道管だけでなく道路もライフラインとしてももちろん整備していかねければなりません。優先順位としては水道管の整備を執り進めていき、財政的な部分も含めて将来に

向けてどのように町民へ供給していくか検討します。

また、新庁舎については、建設場所も含めてある程度素案を作り、町民の方へ情報を提供できたらと考えています。

**議員** 道路や水道管、様々な部分で修繕を行うということは、町内業者の受注工事を多くするという意味でもあり、経済活性化にもつながります。予算の様子を見ながら、できるだけ町の業者が仕事に不足することがないように執り進めていただきたいと思えます。

また、新庁舎については、早く素案を作成し、町長の意気込みは新年度予算で示していただければと思います。

**答** 毎日仕事があるような活気のある町になってほしいと考えていますが、財源的な課題であったり、建設業者の労働者不足によりあまり多くの工事発注は厳しいといった声もあるため、予算の方は他の事業の様子を見ながら進め、労働者不足については商工会等とも協議しながら対応していきます。

また、庁舎も本当に古くなっており、そろそろ手掛けなければならぬと考えているため、財源も含めて新年度に

向けて検討します。

3. 観光の支援「ワーケーションの推進」

**答** 現在、観光協会が主体となり「豊富温泉ワーケーションプラン」を進めており、温泉地区のホテル・旅館など3軒が賛同し、通常よりもお安く泊まれる専用宿泊プランや、ゴルフやキャンプ、スキーが楽しめる体験型プランの提供を進めているところです。今後は、企業の働き方改革を促進する意味でも、町としてワーケーションを進めていきたいと考えています。

**議員** ワーケーションは地方から来る人との交流も大いに期待できると思いますので、観光協会主体で計画したワーケーションのプランを今後広く周知していく必要があると思えます。

**答** 計画ができたばかりのため、これから企業等へ情報提供し、将来的には異業種交流もできたらと考えております。

4. 町民主権の町づくり「町づくり懇談会を定期的に開催し、町民の声を町政に生かし、スピード化に努めます」

**答** 新型コロナウイルス感染症により、会場を設けて開催する「まちづくり懇談会」は令和2年度から2年間で中止となりました。昨年からは定住支援センター及び児沼環境改善センターにおいて再開しましたが、参加者が少ないことから、今年度の懇談会は、幅広く町民の皆さんからのご意見を聞き取ることを目的に、事前に申請をいただき、参加者との調整を行ったうえで、個別の「まちづくり相談室」を開催したほか、前年度までの参加者に若年層が少ないことから、スマホ等の情報端末からご意見などを投稿できる「まちづくり電子意見箱」の設置を行い対応しているところです。

これまでも、広く町民の皆さんのご意見ご要望を伺うために、検討を行い実施してまいりましたが、さらに、多くの町民の皆さんからご意見を伺うために、開催方法などについて検討します。

**議員** まちづくり懇談会において、町から提案するものもなく、意見だけを聞くというやり方では、下水道が詰まっているから直してほしいとか、道路に段差が出来ているから直してほしいなど、細かい話が多くなってきて考えられますので、そうではなくて、町として、新庁舎の素案など、まちづく

くり懇談会の場で提案して、それに対して皆さんはどう思いますかという意見の聞き方も、参加率向上の一つの方法だと思えます。

書面やインターネット上での意見聴取は懇談会とは言えないと思えますが、どうお考えですか。

**答** 今年度行ったまちづくり懇談会は新たな取り組みではありませんが、残念ながら応募が少なかったと感じております。また、以前の懇談会では、数字的な部分もお話しましたが、あまり興味を示されなかったという印象がありますので、新年度については積極的に町民へ投げかけを行って、ご意見を伺いたいと思えます。

こちらをご覧ください！

豊富イノベーション政策について





### 豊富町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

(説明) 令和6年2月17日に豊富町選挙管理委員会委員及び補充員が任期満了を迎えるため、地方自治法第182条第1項及び第2項の規定に基づき選挙するもの。

#### Q 候補者の選定方法は?

次期選挙管理委員の候補者は、どのように選定を行っているのか。

#### A 現在の選挙管理委員に相談して選定している

現在の選挙管理委員に相談し、今後、選挙管理委員はどのような人材が必要なのか意見をいただき候補者を選定した。

### 物価高騰対応事業(物価高騰重点支援給付金)について

(説明) 国より示された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を使用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が最も大きい低所得世帯へ負担軽減を図る事

業として、令和5年12月1日時点で豊富町に住居登録があり、令和5年度の住民税が非課税である世帯に対し、1世帯あたり7万円の給付金を支給するもの。  
なお、非課税世帯でも住民税が課税されている方に扶養されている世帯は除くこととする。

#### Q 非課税世帯以外への負担軽減は?

物価高騰に対して影響のある町民は非課税世帯だけではないと考えられるが、その他の世帯に対する支援は検討されているのか。

#### A まずは非課税世帯の支援を行う

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を使用した支援対象世帯が、非課税世帯への支援と国より示されているため、その他の世帯への支援はまだ検討していないが、まずは非課税世帯への支援を取り組みたい。

#### Q 町独自の支援は?

国より対象世帯が限定されて示されていることは理解できるが、

非課税以外の世帯への支援を町独自で取り組むことは検討しているのか。

#### A プレミアム商品券の販売等を行っている

全世帯を対象とした物価高騰への支援として、プレミアム商品券の販売を行った。また、酪農畜産経営支援事業として飼料や肥料等の高騰に対する支援を行うなど、町としてできる支援は行っている。今後については、国の動きも注視しながら検討を進めたい。

### 豊富町空家等解体撤去事業補助金交付要綱の一部改正について

(説明) 「豊富町空家等の適正管理に関する条例」の一部改正に伴い要綱の改正を行うほか、補助制度の利用促進を図り空家の増加を抑制するため改正するもの。

#### Q 空家の持ち主が町外に居住している場合の対応は?

空家の解体を進めるためには空家の持ち主と交渉する必要があるが、転出等により空家の持ち主が

町外に居住している場合、どのように対応しているのか。

#### A 空家の対応については弁護士に委託している

空家については持ち主の相続についての課題があり、専門的な知識を有する必要があることから、弁護士に委託している。

### こちらをご覧ください!

空家等解体撤去事業補助金制度について

空家等解体撤去事業補助金制度について

### 公園整備について

(説明) 令和3年10月の高校生議会や令和5年6月及び9月の定例会議での一般質問、豊富保育園父母の会からの要望を受け、公園の整備を検討するにあたり、要望されている保護者の方から意見を伺

うことを目的とした会議を開催したため、会議の内容を報告するもの。

#### Q 防災計画を見直す必要が認められるのは

定住支援センター裏は災害時等に使用できる緊急的なヘリポートとなっており、そこに遊具を設置するのであれば町の防災計画を見直す必要があるが、防災計画の見直しは検討しているのか。

#### A 防災計画を見直す必要があるのかも含めて協議する

定住支援センターは指定緊急避難場所、もしくは仮ヘリポートとなっているが、今は遊具設置に向けて様々な意見を聞いているところで、定住支援センター裏に遊具を設置することが決定されたわけではないため、他にも遊具の設置場所はないか、また、防災計画を見直してまで必要であるのかも含めて今後協議していく。

### 公衆浴場(寿湯)の廃止について

(説明) 公衆浴場(寿湯) は昭和

51年に開設されてから47年が経過しており、現在では建物の老朽化利用者数の減少、燃料費高騰が課題となっている。また、管理委託業者からの今年度末での撤退の意向も踏まえ、令和6年3月末をもって廃止したいと考えている。

#### Q 温泉の入浴料を温泉地区の町民と同額にする

公衆浴場の利用者が廃止後に不便なく温泉を利用できるよう、温泉地区の町民と同額の入浴料に変更するべき。  
※町内の65歳以上の町民と温泉地区に住所を有した全町民は、ふれあいセンターの入浴料が通常料金510円のところ300円で入浴できます。

#### A 交通費の助成を検討している

公衆浴場の廃止に関わらず、以前より温泉地区までの交通の整備が町民から求められていたため、まずは、これを機会に全町民を対象とした温泉地区までの交通費を助成し、入浴料については今後検討していく。

### 議会とよとみ表紙写真募集中!

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します。ご応募いただいた中から選定し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております!

**応募資格** 豊富町の写真を撮影した方

**募集内容** 風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております! 写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式をお願いします。

**募集期間** 随時募集

**応募方法** 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先(住所、氏名、電話番号)を記入の上、写真を送付してください。  
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp

# 高校生が考えを問う！



## 第3回高校生議会

令和5年9月13日に第3回目となる高校生議会を、豊富高校3年生にご協力いただき開催いたしました。

本年は、班ごとに一般質問をする特例を設け、全ての生徒に議場で発言してもらう機会を作り、活発な高校生議会となりました。

当日の質問内容を抜粋してご紹介いたします。

### [第1班]

1番 梅本 彩愛 / 2番 高橋 我也

#### ●観光業について

### [第2班]

3番 阿部 羽流 / 4番 工藤 良弘

#### ●学校間交流について

#### ●豊富町の風力発電について

### [第3班]

5番 豊川 碧斗 / 6番 無量谷 優花

#### ●合宿の町について

### [第4班]

7番 西村 瑞七 / 8番 木下 岬

#### ●町民の憩いの場について

### [第5班]

9番 山岸 蓮 / 10番 高橋 陽 / 11番 金内 拓人

#### ●学生寮の設置について



1番 梅本 彩愛 議員

### 特産品のPRの強化を！

**問**豊富町の様々な特産品を使用した「豊富フェア」を開催することで、町民や観光客に向けて特産品をPRできると思いますが、今後どのように周知していくのか伺います。

**答**関係業者の意向を聞く町の特産品は、道外の

イベントに参加するなどして周知をしていますが、議員ご提案の特産品を集約したイベントの開催は、観光客や町民に特産品を知っていただける良い機会であると思っております。特産品を取り扱っている関係業者の意向を聞き取り進めたいと考えます。

### 再質問



2番 高橋 我也 議員

### イベントの開催時期を問う！

**問**「豊富フェア」を開催する具体的な時期や何年以内に取り組みの可否を伺います。

い時期に実現できるように努めます。

**答**今はまだ具体的な時期はお示しできませんが、町内の関係者としてしっかりと協議して、できるだけ早く

実施できるよう努めます。

### 町外との学校間交流も実施すべき！

**問**豊富町内の学校だけではなく、町外の学校とも交流を深めることで高校存続につながると思いますがどうお考えですか。

るため、そのつながりを活かして町外の学校間交流を実施できたらと考えています。

**答**身近ですが、幌延町の小中学校とは学校間交流を実施しています。また、他校により盛んにセミナーハウス等が利用されてい

### 再質問

**問**他校とのつながりを活かして交流を深める

るため、そのつながりを活かして町外の学校間交流を実施できたらと考えています。



3番 阿部 羽流 議員

### 学校間の交流を強化すべき！

**問**小中学生と豊富高校生が交流を深めることで、小中学生が豊富高校に興味を持ち、高校まで豊富町で学びたいという生徒も増えると思いますがどうお考えですか。

中・高の学校間交流を進めていく予定です。後輩たちに豊富高校の魅力伝えていただけたらと思います。

**答**今後、状況を見て小・

を進める予定



4番 工藤 良弘 議員



### 発電された電力を町で使用できるようにすべき！

**問** 豊富町は国内最大級の陸上風力発電所が建設され稼働しておりますが、そこで発電された電力が有事の際に使用できないことについて町長の考えを伺います。

**答** されており、本町へ直接供給されるような仕組みにはなっておりません。

### 再質問

### 電力確保に向けた計画や対策は？

**問** 豊富町にはサロベツ断層帯があり、いつ地震が起こるか分かりません。そのため、電力確保は必要であると考えますが、今後の計画や対策をお聞かせください。

**答** 90%の酪農家は、自家発電機を設置しているため停電時の対応は十分可能です。また、現在、町で水素の実証実験を行っており、これが上手く進めば燃料電池等を活用した防災対策が可能になるかもしれません。

**問** 豊富町にはサロベツ断層帯があり、いつ地震が起こるか分かりません。そのため、電力確保は必要であると考えますが、今後の計画や対策をお聞かせください。

**答** 90%の酪農家は、自家発電機を設置しているため停電時の対応は十分可能です。また、現在、町で水素の実証実験を行っており、これが上手く進めば燃料電池等を活用した防災対策が可能になるかもしれません。

**問** 豊富町にはサロベツ断層帯があり、いつ地震が起こるか分かりません。そのため、電力確保は必要であると考えますが、今後の計画や対策をお聞かせください。

**答** 90%の酪農家は、自家発電機を設置しているため停電時の対応は十分可能です。また、現在、町で水素の実証実験を行っており、これが上手く進めば燃料電池等を活用した防災対策が可能になるかもしれません。



### 「合宿の町」の周知方法は？

**問** 教育行政執行方針に、「合宿の町」として豊富町を周知するとありますが、具体的にどのような方法で周知していくのか伺います。

**答** 大学、包括連携協定を結んでいる大学へパンフレットを送付しPRをしており、現在、利用実績のない学校からも利用されているためPRの効果を実感しています。

### 再質問



6番 無量谷 優花 議員



### SNSの活用を！

**問** パンフレットだけでなく、SNSを活用しPRをすることで利用率の向上につながると思います。が、SNSの活用について伺います。

**答** 実際の活動の様子をSNSで紹介することで、さらに広報の効果が高まると考えています。

**問** パンフレットだけでなく、SNSを活用しPRをすることで利用率の向上につながると思います。が、SNSの活用について伺います。

**答** 実際の活動の様子をSNSで紹介することで、さらに広報の効果が高まると考えています。

**問** パンフレットだけでなく、SNSを活用しPRをすることで利用率の向上につながると思います。が、SNSの活用について伺います。

**答** 実際の活動の様子をSNSで紹介することで、さらに広報の効果が高まると考えています。



7番 西村 瑞七 議員



### 町民の憩いの場の創出を！

**問** 定住支援センター内のカラオケルームは1室しかないため、気軽に利用することができません。カラオケルームを増やすことで利便性向上につながり、さらに町民の憩いの場の創出になると考えますが、町長の考えを伺います。

**答** カラオケルームを増やす場合、他の利用者への影響や防音対策等の課題がありますので、利用実態の調査や町民の意見を伺いながら対応します。

### 学生寮の設置を求む！

**問** 学生寮が設置されれば町外から豊富高校への入学者をより多く呼び込むことができると思いますが、

**答** 町外からの入学希望者を確保するためには、住環境の整備が重要であると考えられるため、町全体の定住移住対策と併せて考えていきます。

### 再質問

### 学生寮を設置するメリットを考えよう！

**問** 住む場所がないことを理由に豊富高校への入学を諦めた人もいます。学生寮を設置するメリットは十分あると思いますが、どうお考えですか。

**答** 寮を管理する人材が不足している

**問** 過去には寮母さんの担い手がいなくなり下宿を辞めた経過もあるため、どの業種も労働者不足が課題となっており、寮母さんの担い手が見つかれば学生寮の設置も検討していきたいと考えています。

### 再々質問



10番 高橋 陽 議員



### 早期の取り組みを求む！

**問** 高校の入学者を増やすために早く取り組みを始めることはできないですか。

**答** 条件が揃えば即手掛

**問** 条件が揃えば即手掛

**答** 条件が揃えば即手掛

**ピックアップ**  
高校生議会で議長を務めた  
11番 金内 拓人 議員

11番 金内 拓人

9番

山岸 蓮 議員



10番

高橋 陽 議員



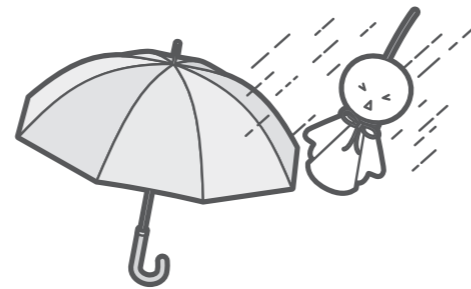
## 芝生の管理をもう少し丁寧に!

コースの芝刈りを委託しているが、綺麗に刈れていなかったり、地盤が軟弱なところにタイヤの跡がつきコースに支障をきたしている。



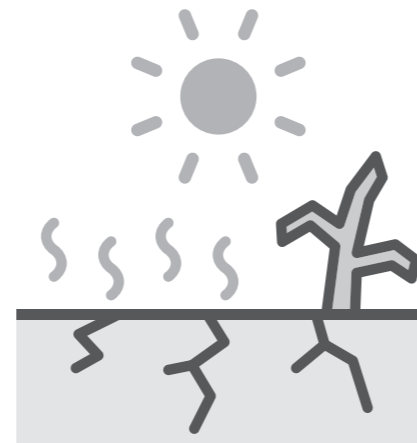
## 東屋に雨水が浸水して入れない!

雨が降ると、東屋に雨水が浸水するため中に入れず雨宿りができないため、濡れながら走って管理棟に戻っている。



## 日照りが続くと枯れ芝や地割れが発生するため対策を!

日照りが続くと、コースの芝生が枯れたり、地割れが発生するため、コース内に散水装置等を設置してほしい。



### [感想] 水戸部正博 議員

パークゴルフ協会との懇談においては、コース管理（散水、芝刈り方法）、東屋など周囲の改善の要望がありました。

また、概要説明では、36名の会員数であることや、パークゴルフに取り組む目的が人それぞれなこともあって、15~16名ほどの人数で、他にも4~5団体あるそうです。

来年は創立30周年ということで、大会を予定しているそうです。年配者においては、外に出て人と接し、手ごろな運動負荷なのでとても良い趣味と思います。



# 豊富町 with パークゴルフ協会

令和5年9月25日に、豊富町パークゴルフ協会から3名の役員の方にご参加いただき、広聴会を開催しました。  
広聴会の中で出た意見等の一部を紹介します。



広報広聴  
常任委員会

## 広聴会

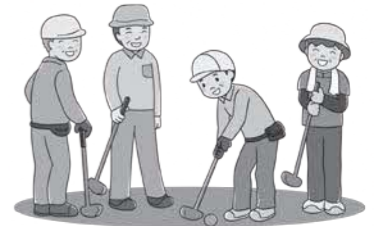
- 開催日 令和5年9月25日
- 参加議員 千葉久  
竹中隆浩  
鎌倉和雄  
佐々木政義  
水戸部正博

## 豊富町パークゴルフ協会の現状は?

豊富町パークゴルフ協会は、創立から29年が経過し、令和6年度で30周年を迎えます。

会員数は最盛期で約130名まで増加しましたが、現在は36名ほどとなっており、会員数の減少が課題となっています。

また、各種大会については、スポンサーにご理解とご協力をお願いしながら、年間15回程度の大会を開催しています。



### 参加者から広報広聴常任委員会へひとこと!

芝生の良好な状態でパークゴルフを楽しめるよう、今後の維持管理等のご配慮をお願いします。

また、この度、このような広聴会を開いていただきましたことに、広報広聴常任委員会の皆様に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました!

### [感想] 竹中隆浩 議員

パークゴルフ協会は設立して今年で29年になります。会員数は最盛期で130名ほど増加しましたが、年々会員が減少して現在は36名ほどです。屋外で行うスポーツのため、芝の問題や日照りが続くと地割れを起こしたり、雨が続くと東屋や周囲に水が溜まる問題などたくさんの意見を聞きました。役員のみならず手不足や会員の勧誘などが今後の課題ですが、スポーツは健康増進やコミュニケーションの場であり、年齢制限がないため、特に若い会員を増やし、後世につなげてほしいと思います。



## 習い事のための送迎バスの運行を!

子どもの習い事の送迎が、牛舎の時間に重なってしまうため、夕方に家から町まで送迎してくれるバスがほしい。

もしくは、距離数に応じて交通費の助成を検討してほしい。



## 遊休農地の活用方法は?

近年の離農により一軒あたりの草地面積も増え、離農しても草地の引き取り手がない等、農村地域ではますます遊休農地問題が深刻化しているが、町として農地の有効活用を検討してほしい。



## 風車建設の現状把握を!

大規模風力発電計画が急速に進められ風車が乱立しているが、計画当初からこのような状況になることは把握していたのか。

また、風車建設場所の近隣に住む町民からの苦情や、風車建設における動物や人への影響を調査し町として把握してほしい。



● **[感想]**  
小笠原照美  
議員

JA北宗谷青年部との広聴会で、有意義な意見交換会ができました。地元民や町外の方が豊富町に魅力をもって定住できる町づくりや、女性の方が働ける環境づくり・町外や地元出身の方が豊富町で就職した場合の支援策・移住者の住居確保等、地域共生社会を意識した内容の広聴会でした。

やはり、豊富町全体が活性化することを望んでおり、そのために人と人の繋がりや人と地域の繋がりを強くしていく必要性を痛感したところです。



# JA北宗谷 with 青年部豊富支部

令和5年10月27日に、JA北宗谷青年部豊富支部から6名の役員の方にご参加いただき、広聴会を開催いたしました。  
広聴会の中で出た意見等の一部をご紹介します。



広報広聴  
常任委員会

## 広聴会

- 開催日 令和5年10月27日
- 参加議員 千葉久  
竹中隆浩  
小笠原照美  
佐々木政義  
水戸部正博

## 魅力のある町づくりを!

町内や町外の方が根付いてくれるような、魅力のある町づくりを行ってほしい。



## 夜間託児所の開設を!

保育園へ預けられる時間に限りがあるため、保育園の他に夜間託児所を開設してほしい。

● **[感想]**  
水戸部正博  
議員

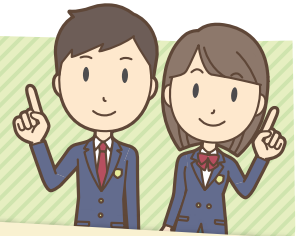
事前にたくさんの議題を用意されていて、大変意欲的だと思いました。風力発電整備に関しては、自然保護の観点から見れば問題を含んでいます。近年のエネルギー問題やSDGs、脱炭素などを視野に入れば量的課題と考えます。  
また、子どもの習い事の送迎についての意見がありましたが、祖父母のおられる方は、孫の面倒を見て話を聞いたことがあります。しかし、新規就農の方にとっては、そのようなことはできず悩みの一つになるでしょう。何か地域で互助的なシステムを行政の後押しでできたら良いと考えます。





## ＼ 高校生の声 ＼

### 豊富町を住み続けたい町にするために



豊富高校2年生

竹中 瑠花さん



豊富町を住み続けたい町にするには、活気があることと町民がこの町を誇りに思うことが大切だと思います。活気づける上で問題となってくる事の一つは人の少なさだと考えます。

人を沢山呼び寄せる事は簡単なことではありませんが、最近ではSNSでのアピールによって観光客がいっぱい来るようになった町が沢山あります。その町独自のハッシュタグを作ったり、フォトコンテストを行っている町もあります。SNSで特産品や観光地のアピールを町民みんなで行うことで町の活性化を意識し、町民が一体となると考えます。さらに町民が一体となることにより活気溢れた町になると思います。

ですが、豊富町の魅力を発信するにはこの町のことをよく知る必要があります。私は去年の探究活動で天然ガスの現状や風力発電のことについて初めて知りました。とても興味を惹くもので楽しかったことを今でも覚えています。

このように17年住んでいても知らないことが沢山あります。こうした豊富町のことを知る機会がもっとあっても良いのではないかと思います。そして、そのことについて町民の意見を聞くことによりより良い町になっていき、住み続けたい理想の場所に近づくとと思います。

まず、私たちが率先して進学先でも地元のことを紹介し、誇りと地元への感謝の気持ちを持っていきたいと思えます。

## ＼ 中学生の声 ＼

### 豊富町に一言！

豊富中学校2年生

小松 桃子さん



私は豊富町をすごく自然が綺麗で空気がとても美味しい町だと感じているので、外で活動することがとても大好きです。

しかし、あまり綺麗な公園が無いと思いました。

公園の設備が整っていないとケガをしてしまう可能性が高まります。例えば、ブランコに乗っただけでギシギシと鳴ったり、滑り台の手すりの木の皮がめくれています。

ケガのリスクを減らすため室内で遊ぶという選択も良いと思いますが、せっかく自然が綺麗で空気が美味しい豊富町ですので外で遊ぶ方が楽しいと思います。

設備を見直し安全な町づくりを進めていきませんか？



次回定例会は

3月です

(3月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか。どんなまちづくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌  
議会とよとみ 第246号

発行日/令和6年2月14日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-73-1755 FAX 0162-82-2806